

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	じえいえふいーれきしりょうかん <b>JFE歴史資料館</b>
27-1	

エリア	田島地区	シーズン	—
	扇島	日時	—

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物



写真提供：JFEスチール（株）東日本製鉄所

所在地	川崎区扇島1-1
問い合わせ	JFEスチール（株）東日本製鉄所
TEL	044-322-1111
FAX	
E-mail	
URL	<a href="http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/keihin/">http://www.jfe-steel.co.jp/works/east/keihin/</a> (JFEスチール(株)東日本製鉄所・京浜地区HP)
交通	



### 基礎情報

■日本初の鋼管専門会社で、明治以降の製鉄業界をリードした日本鋼管株式会社（NKK・現JFEスチール（株））の歴史を物語る数多くの資料を展示する資料館。日本鋼管京浜製鉄所内で稼働していたトーマス転炉の模型をはじめ、実際に使用されていた作業服やヘルメット、日誌類などが多数陳列されている（原則として非公開）。

### 由来・エピソード

■明治維新以降、新政府は「富国強兵」「殖産興業」という二大国策を推進したが、鉄鋼の国内生産は微々たるもので、多くは輸入に頼っていた。明治27年(1894)、日清戦争の勃発を契機として官営八幡製鉄所が設立された。しかし軍需、官需が優先されたため、明治37年(1904)の日露戦争以降に急増した民間の需要には応えきれなかったことから、数多くの民間の製鉄所が誕生していた。

■慶応3年(1867)生まれの実業家・白石元治郎氏は、浅野総一郎氏の門下生として出発し、東洋汽船を興し当時は無謀とされた13,000トン級の国産船舶の建造を成功させた。さらに国家の将来を考え、航路開発のため世界を奔走していた白石氏は、インドの製鉄所生産の銑鉄に注目し、帝大時代の旧友・今泉嘉一郎氏に相談を持ちかけた。今泉氏は製鉄民営の志をもって官営八幡製鉄所を辞し、継目無鋼管生産の有望性を模索していた技術者であった。こうして白石氏の経営と今泉氏の技術、そして浅野総一郎氏や渋沢栄一氏の支持を得て、明治45年(1912)6月、日本初のガス・液体などの輸送用鋼管の専門会社として日本鋼管(株)が設立された。白石氏は浅野氏の娘婿となり独立、初代社長に就任した。工場用地はまだ未造成地であった若尾新田（現在の南渡田町）の一角を購入し、埋め立てと工場建設を進め、翌大正2年(1913)操業を開始した。

■昭和63年(1988)、創立記念日を機に社名を日本鋼管から「NKK」に統一し、平成15年(2003)4月にはNKKと川崎製鉄(株)の鉄鋼部門が統合し、現在のJFEスチール(株)が誕生した。

### 補足・その他

■鉄鋼生産の分野で独占的地位を占めていた官営八幡製鉄所に対して、民営の日本鋼管の創業は民間製鉄業振興の先駆的役割とともに、京浜工業地帯形成における基幹部門としての機能を果たしたことは大きな意義をもつものであった。

■現在、南渡田町の一部の旧工場跡地一帯は、「テクノハブイノベーション川崎（THINK）」となっている。その敷地の一角には、創業ときにドイツから招いた職工長アウグスト・アウマン氏らの宿舎として使われた「アウマンの家」が復元され、また当時の正門に置かれていた門柱や白石元治郎氏の銅像が置かれている。昭和6年(1931)開業の武蔵白石駅（現・JR鶴見線）は白石氏の名にちなんでいる。

### 関連シート

(8-4) 成就院  
 (22-2) 鶴見線  
 (24-1) アウマンの家と門柱  
 (24-3) 新大扇橋